



同志社大学大学院 博士課程教育リーディングプログラム
「グローバル・リソース・マネジメント」
2014年度 履修候補生募集要項

◆ 「グローバル・リソース・マネジメント」が求める人材

本プログラムは、グローバル・リソース・マネジメント（GRM）の本質を、天然資源や人的資源・社会関連資本を適切かつ公正に管理・運営することにより、共通リソースとしてインフラストラクチャーを持続可能な発展と人々の安寧と平和のために構築・改善していくことと捉え、文理融合型の教育プログラムの提供を通じて、自然科学分野における最適化問題を社会科学的側面も含めて鳥瞰し、国家資源・社会インフラが「人間が創出するシステム」であることを理解して現在の困難を解決し、将来に生じうる隘路を事前に察知した対策を講じることのできる人材を養成することを目的とする。そのために、次のような学生を求める。

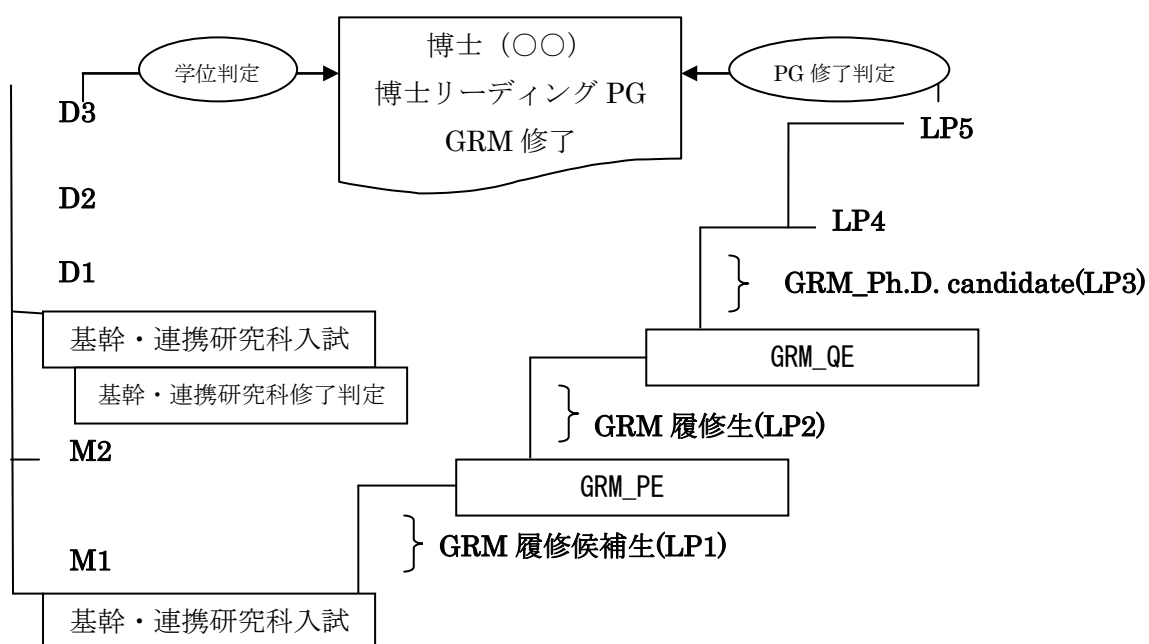
- ①災害、紛争、貧困など、生存の危機に瀕する過酷な状況にある人々に寄り添い、共に学ぶことによって困難を打開する志をもった学生。
- ②論理的思考能力、英語および研究に必要な言語の資料読解力と発信力を有し、科学技術に対する正しい倫理観をもって、社会に貢献することを望む学生。
- ③文理融合の知を基に、「公正」のなんたるかを意識しつつ、宗教間、民族間の共生を志向し、地球的課題としての困難の発生を抑止し、また発生した困難からの復興と発展に取り組むことができる学生。
- ④困難から脱して、発展の途上にある新興国において発展の持続性と格差の縮小に取り組むことで、これらの諸国と戦略的パートナーシップを築いていく活動に取り組む意欲を持つ学生。

なお、本プログラムは、博士前期・後期課程を一貫する5年間のプログラムとして、博士前期課程1年次終了時点と2年次終了時点で、それぞれ、Preliminary Examination (PE) と Qualifying Examination (QE) を実施する。PEにおいては、本プログラムへの志向性を確認するために、志望理由書、博士前期課程における履修状況、筆記試験（論述）、口頭試問、および研究指導教員からの所見を通じて、本プログラムの履修資格の認定審査を行う。QEにおいては、本プログラムを継続的に履修する能力、知識が備わり、学位論文作成の準備が備わっているかを確認するため、研究計画書をもとにした口頭試問を実施し、本プログラムの継続履修資格の認定審査を行う。

◆ 「グローバル・リソース・マネジメント」プログラムについて

本プログラムは、良心教育を基礎に据え、本学の教育のグローバル化の成果を活かして、諸研究科を横断する新たな大学院教育を創設するという趣旨から構想された。本プログラムが養成しようとするグローバル・リーダーは、いわゆる「エリート型」リーダーではなく、新興国や最困難国・地域で現地の人々と同じ目線で諸問題の解決にあたることのできる文理融合型グローバル・リーダーであり、創立者新島襄の精神が生き続けている本学独自のプログラムである。

このような人材を育成すべく、基幹研究科・専攻又は連携研究科・専攻（表 1）に入学した学生を対象とし、博士前期・後期課程を一貫する5年間の学位プログラムによる大学院教育を提供する。本プログラムの履修を希望する学生は、所属する研究科の定める規程等に従って博士前期課程の教育課程を履修するとともに、本プログラムが開設する独自の科目を履修する。博士前期課程1年次終了時点で、本プログラム履修生としての認定を審査する Preliminary Examination (PE) を受験し、当該試験に合格した者を「GRM 履修生」として迎え入れる。GRM 履修生に対しては、博士前期課程2年次の所属研究科での博士前期（修士）課程最終試験（試問会等）と同じ時期に、本プログラムの継続履修の可否について、Qualifying Examination (QE)を実施し審査する。



PEでは志望理由書、博士前期課程における授業科目の履修状況、筆記試験（論述）、口頭試問等を総合的に判断し、可否を決定する。PEの実施により、学修した知識を整理して理解する基礎学力および、本プログラムへの志向性を確認する。

QEでは履修継続理由書または志望理由書及び研究計画書（英語/日本語）を基とする口頭試問を実施する。QEにより基礎学力とともに計画立案能力、計画に基づいて研究・実務を遂行する能力を確認する。QEを通過した履修生は、「GRM Ph. D. candidate」として博士後期課程に進学^{*}し、所属する研究科の定める規程等に従って博士後期課程の教育課程を履修するとともに、継続して本プログラムを履修する。なお、QEの実施においてPE未受験者を若干名受け入れることがある。

本プログラムでは、所属の研究科の所定単位を修得した上で、別途、本プログラムの修了に必要な単位（20単位）を履修し、一定の業績を挙げた履修生に対し、プログラム修了認定審査を行う。本プログラムの修了認定審査に合格し、所属研究科における博士学位論文審査に合格した者には、所属研究科の教育課程及び博士課程教育リーディングプログラム（グローバル・リソース・マネジメント）を修了したことを添えた、「博士（所属研究科ごとに定める専門分野）」の学位を授与する。

※別途、大学院入学試験（博士課程（後期課程））（表2）を受験し合格する必要がある。

表1 グローバル・リソース・マネジメント参画研究科・専攻（博士前期課程）

基幹研究科・専攻	グローバル・スタディーズ研究科グローバル・スタディーズ専攻、理工学研究科情報工学専攻、理工学研究科電気電子工学専攻、理工学研究科機械工学専攻、理工学研究科応用化学専攻、理工学研究科数理環境科学専攻
連携研究科・専攻	神学研究科神学専攻、文学研究科哲学専攻、社会学研究科社会福祉学専攻、社会学研究科産業関係学専攻、法学研究科公法学専攻、経済学研究科理論経済学専攻、経済学研究科応用経済学専攻、商学研究科商学専攻、総合政策科学研究科総合政策科学専攻

※2011年度以前入学者は、理工学研究科を工学研究科（応用化学専攻は工業化学専攻）と読み替える。

表2 グローバル・リソース・マネジメント参画研究科・専攻（博士後期課程）

基幹研究科・専攻	グローバル・スタディーズ研究科グローバル・スタディーズ専攻、理工学研究科情報工学専攻、理工学研究科電気電子工学専攻、理工学研究科機械工学専攻、理工学研究科応用化学専攻、理工学研究科数理環境科学専攻
連携研究科・専攻	神学研究科神学専攻、文学研究科哲学専攻、社会学研究科社会福祉学専攻、社会学研究科産業関係学専攻、法学研究科公法学専攻、経済学研究科経済政策専攻、商学研究科商学専攻、総合政策科学研究科総合政策科学専攻

2014年度 募集要項

1. 履修候補生とは

「グローバル・リソース・マネジメント（以下、GRM）」プログラムは、博士前期・後期課程の5年間の一貫プログラムです。博士前期課程1年次（秋学期の）終了と2年次春学期終了にあわせ、Preliminary Examination（PE）を実施し、履修生を選抜しますが、GRMに興味を持ち、1年次よりプログラムの履修を強くのぞむ者については、履修候補生となり、履修生に選抜される前からGRMプログラムの履修をはじめることができる制度です。履修候補生が、GRM科目の履修に際して生じる実習などの費用については、GRMが定めたルールにより支援することがあります。

履修候補生の期間は、原則として選抜されたセメスターから1年次（第2セメスター）終了時までとします〔今回の募集の候補生の期間は、2014年4月～2015年3月〕。1年次終了時のPEに出願しなかった履修候補生は、プログラム履修を継続せず、修了の意思がないとみなします。1年次終了時のPEに出願し、不合格となった履修候補生については、GRMプログラムの履修の継続を希望し、申請すれば、履修候補生の期間を次のPEが行われるまでの1セメスター延長することを認める場合があります*注。

履修候補生として認められた期間は、履修上の問題がない限り、1セメスターに最低1科目2単位以上GRM科目の登録・履修をしてください（ただし、原則として「GRMフィールドワークI」「GRMインターンシップI」は登録・履修できません）。ここでいうGRM科目とは、GRMの科目コードで登録された科目を指します。GRM科目の登録・履修がなければ、GRMプログラムの履修する意思がないものとみなし、履修候補生の資格を取消することがあります。

なお、履修候補生は、GRM履修生特別奨励金の給付対象とはなりません。

*注 8. を参照。

2. 出願資格

以下の（1）～（4）の要件をすべて満たす者。

- （1）出願時点において、下表の本学博士課程（前期課程）の基幹研究科・専攻又は連携研究科・専攻に所属し、第1セメスターもしくは第2セメスター（休学期間を除く）に在学する者。
- （2）GRMプログラムについて深い理解があり、プログラムの履修を強く望む者。
- （3）GRMが履修可能な基幹研究科・専攻又は連携研究科・専攻の博士課程（後期課程）に進学し、博士学位取得とともに、本プログラムを修了することを目指す者。
- （4）指導教員と研究（学習）計画について相談し、本プログラムへ出願することについての承諾を得られる者。

基幹研究科・専攻	グローバル・スタディーズ研究科グローバル・スタディーズ専攻、理工学研究科情報工学専攻、理工学研究科電気電子工学専攻、理工学研究科機械工学専攻、理工学研究科応用化学専攻、理工学研究科数理環境科学専攻
連携研究科・専攻	神学研究科神学専攻、文学研究科哲学専攻、社会学研究科社会福祉学専攻、社会学研究科産業関係学専攻、法学研究科公法学専攻、経済学研究科理論経済学専攻、経済学研究科応用経済学専攻、商学研究科商学専攻、総合政策科学研究科総合政策科学専攻

3. 出願受付

出願書類配付場所：グローバル・スタディーズ研究科もしくは理工学研究科事務室

受付期間 2014年3月20日（木）～4月7日（月）

土・日のぞく 9時～11時30分, 12時30分～17時

受付場所 所属研究科により、提出先が異なります。注意してください。

受付場所（事務室）	所属研究科
グローバル・スタディーズ研究科事務室 （今出川校地烏丸キャンパス 志高館）	グローバル・スタディーズ研究科、神学研究科、文学研究科、社会学研究科、法学研究科、経済学研究科、商学研究科、総合政策科学研究科
理工学研究科事務室 （京田辺校地京田辺キャンパス 理化学館）	理工学研究科

郵送での出願は受け付けません。特別な事情により、持参できない場合は受付期間前に、受付事務室に相談し、その指示に従ってください。

4. 出願書類

(1) 履修候補生 選考 志望理由・研究計画書〔所定書式（様式1）〕

(2) 履修候補生 選考 指導教員 所見〔所定書式（様式2）〕

7. に記してあるとおり、履修候補生は、「GRMオンサイト実習I」を登録履修することがのぞましく、4月29日（火）～5月2日（金）の沖縄県宮古島での現地実習に参加が可能なものは、参加申込書もあわせて提出してください〔4月11日（金）17時以後に参加を取りやめる場合は、キャンセル料が発生し、自己負担になりますので、十分注意してください。選考結果が不合格の場合は、参加申込は自動的に取消されます〕。

5. 出願方法

①志望理由・研究計画書を記入する。

②指導教員にGRMの履修の承認を得る。

③下記のいずれかのGRM担当教員と面談し、GRMの趣旨、履修方法等を確認し、志望理由・研究計画書の下部に面談した旨のサインを得る。

内藤 正典（グローバル・スタディーズ研究科） mnaito@mail.doshisha.ac.jp

小山田英治（グローバル・スタディーズ研究科） eoyamada@mail.doshisha.ac.jp

峯 陽一（グローバル・スタディーズ研究科） ymine@mail.doshisha.ac.jp

中西 久枝（グローバル・スタディーズ研究科） hinakanis@mail.doshisha.ac.jp

和田 元（理工学研究科） mwada@mail.doshisha.ac.jp

林田 明（理工学研究科） ahay@mail.doshisha.ac.jp

藤原 耕二（理工学研究科） kofujiwa@mail.doshisha.ac.jp

橋本 雅文（理工学研究科） mhashimo@mail.doshisha.ac.jp

電子メールで面談のアポイントをとること。メールには、履修候補生出願面談の件であること、所属研究科・選考、氏名（ふりがな）、連絡先電話番号、メールアドレスを記すこと。どの教員でも構いません。

④出願書類を期限までに提出する。

6. 選考結果発表

2014年4月11日(金)

出願書類を提出した事務室で、結果通知を渡します。

7. その他

- (1) 選考に合格した場合、履修候補生としての期間は、2015年3月までです。
- (2) 選考に合格し、履修候補生となった者(以下、「候補生」)は、GRM科目〔他研究科の開講科目と合同で行われる科目は、GRM科目コードで登録履修〕を年間2単位以上科目登録し、履修する必要があります(ただし、「GRMフィールドワークⅠ」「GRMインターンシップⅠ」は登録・履修できません)。4月11日(金)～15日(火)に、所属する研究科事務室で、**GRM春学期の科目登録を行ってください**(秋学期開講科目は、秋学期の登録期間に登録)。その際は、学生証のほか履修候補生の選考結果通知を窓口で示してください。
- (2) GRMの履修を進めていく上で、候補生は、春学期「GRMオンサイト実習Ⅰ」「GRMコモン演習Ⅰ」「GRM国際会議の組織と実践Ⅰ」を科目登録・履修することがのぞましく、支障がないかぎり登録するようにしてください。これらの科目は、実習がありますので、参加できるかどうかを確認したうえで科目登録してください。
- (3) 「GRMオンサイト実習Ⅰ」登録者は、4月29日～5月2日宮古島での現地実習に参加する必要があります。食事代など一部をのぞいて交通費・宿泊費は大学が負担します。参加できない場合は、出願時にその旨申し出てください。
- (4) 「GRMコモン演習Ⅰ」を可能な限り、科目登録・履修してください。講義は集中で行われますが、前後の7月26日～7月27日に、びわこリトリートセンターで学外実習(合宿)に参加する必要があります。宿泊費は大学が負担します。
- (5) 「GRM国際会議の組織と実践Ⅰ」については、2クラスあります。クラスで内容、国際会議開催時期も異なります。他の実習と日程が重なるものもあるため、日程を確認したうえで登録するようにしてください。

8. 履修候補生期間の延長について

1年次終了時のPEに出願し、不合格となった履修候補生が、GRMプログラムの履修の継続を希望する場合、下記の期間に、同志社大学大学院「グローバル・リソース・マネジメント」履修候補生 期間継続申請書〔所定書式(様式3)〕を提出してください。継続の可否を審査します。

受付期間 2014年3月20日(木)～4月8日(火)

土・日のぞく 9時～11時30分、12時30分～17時

受付場所 所属研究科により、提出先が異なります。注意してください。

受付場所(事務室)	所属研究科
グローバル・スタディーズ研究科事務室 (今出川校地烏丸キャンパス 志高館)	グローバル・スタディーズ研究科、神学研究科、文学研究科、社会学研究科、法学研究科、経済学研究科、商学研究科、総合政策科学研究科
理工学研究科事務室 (京田辺校地京田辺キャンパス 理化学館)	理工学研究科

提出書類

同志社大学大学院「グローバル・リソース・マネジメント」履修候補生 期間継続申請書〔所定書式(様式3)〕

審査方法

出願書類および Preliminary Examination (P E) の評価をもとに審査します。必要に応じて面接を行う場合があります。

審査結果発表

2014年4月11日(金)

その他

履修候補生の延長が認められた期間(セメスター)は、最低1科目2単位以上GRM科目の登録・履修をしなければなりません(ただし、「GRMフィールドワーク I」「GRMインターンシップ I」は登録・履修できません)。

候補生の履修については7. のとおりです。4月29日(火)～5月2日(金)の沖縄県宮古島での「GRMオンサイト実習 I」に参加希望する場合は、様式3とともに、参加申込書もあわせて提出してください〔4月11日(金)17時以後に参加を取りやめる場合は、キャンセル料が発生し、自己負担になりますので、十分注意してください。審査結果が不合格の場合は、参加申込は自動的に取消されます〕。



【問合せ・連絡先】

高等研究教育課〔博士課程教育リーディングプログラム事務局〕
（今出川校地 寧静館 1F）

〔TEL〕 075-251-3259 〔FAX〕 075-251-3152

〔E-mail〕 ji-grmld@mail.doshisha.ac.jp

〔ホームページ〕 <http://grm.doshisha.ac.jp>

グローバル・スタディーズ研究科事務室
（今出川校地烏丸キャンパス志高館）

〔TEL〕 075-251-3930

〔E-mail〕 ji-gs@mail.doshisha.ac.jp

理工学研究科事務室
（京田辺校地理化学館）

〔TEL〕 0774-65-6200

〔E-mail〕 jt-koujm@mail.doshisha.ac.jp

※記入不要
整理番号

受付印
※記入不要

同志社大学大学院「グローバル・リソース・マネジメント」
履修候補生 選考 志望理由・研究計画書

所属研究科	研究科	専攻	学生ID	
学生氏名				

--

前期課程でのグローバル・リソース・マネジメント科目履修計画

第2 Semester	第3 Semester	第4 Semester

GRMが履修可能な基幹研究科・専攻又は連携研究科・専攻の博士課程（後期課程）に進学し、博士
学位取得を目指す意志が [ある ない] ※ いずれかにチェック

GRMプログラム運営委員(教員) 面談日 2014年 月 日

※記入不要
整理番号

様式2

受付印
※記入不要

同志社大学大学院「グローバル・リソース・マネジメント」 履修候補生 選考 指導教員 所見

グローバル・リソース・マネジメント
プログラム実施責任者 様

以下の学生が、グローバル・リソース・マネジメント候補生として、プログラムの履修をはじめることについて指導教授として問題ないと判断いたします。

(所属研究科) _____ 研究科 _____ 専攻 _____

(学生 I D) _____

(学生氏名) _____

特記事項

指導教員

(所属研究科) _____ 研究科 _____

(職 名) _____

(氏 名) _____ (印)

指導教員の方へ

- * グローバル・リソース・マネジメントは博士学位取得をめざす学生が、自身の専攻と並行して履修する博士課程（前期課程・後期課程）5年間の副専攻プログラムです。
- * 選考に際して、本紙とともに 志望理由・研究計画書（様式1）の提出を求めていますので、それにもお目通しいただいたうえで、ご判断くださいますようお願いいたします。